



News Letter

川の環境学習会 in 湧別川（湧別町立ゆうべつ学園・上湧別学園）

水生生物調査 & 魚類調査 実施レポート

◆開催概要◆

令和7年7月16日（水）に、湧別町内を流れる湧別川かいせいとうしゅこうの開盛頭首工下流で、湧別町立ゆうべつ学園4年生18名と上湧別学園4年生23名を対象に「川の環境学習会」を開催しました。本学習会は「ゆうべつアウトドアクラブ YU-PAL」と協働で実施しました。

学習会では、川で遊ぶ際の危険回避方法を学ぶ「川の安全講習会」、川に生息している水生生物から水質を判定する「水生生物調査」、川の魚を観察・採捕する「魚類調査」、ネイチャーゲーム「カモフラージュ」を実施しました。



開催場所:湧別川 開盛頭首工下流

◆実施内容◆

「川の安全講習会」では、川に近づく時の注意点や川の危ない場所について学習。“1人では川に行かない”“川に流された人がいたら助けを呼ぶ”といったことを学びました。

ライフジャケットを正しく着用した後は、いよいよ川に入り「水生生物調査」です。児童たちは川底の石を手に取り、石に付いている生物を観察しました。また、バットにあげた石からピンセットで生物を種類ごと取り分けました。その結果、シマトビケラ・ヒゲナガカワトビケラ・マダラカゲロウなどが多く見られ、この調査地点の水質が比較的良好であることがわかりました。



川に流されたらどうする!?
対処のしかたを学びました

次は「魚類調査」です。まずは、事前にスタッフが捕ったウグイ・ヤマメ・フクドジョウなどをタライで観察しました。その後、児童たちが実際にタモ網を持って川に入り、魚とりに挑戦。自由に魚を狙ったり、みんなでタモ網を並べて上流から魚を追い立てたりすると、フクドジョウを捕る児童もいました。また、採捕許可が必要な“投網”のスタッフによる実演を見学しました。

岸に戻った後はネイチャーゲーム「カモフラージュ」を行いました。20mのロープを地面に置いてコースを作り、その周辺の地面や草木に置かれたおもちゃなどの人工物の数を数え、観察力や集中力を高めるゲームです。今回は8つのおもちゃが置かれていましたが、草木に紛れて見つけにくいものもあったようでした。

児童たちにとって記憶に残る学習会となりました。



川の石には
どんな水生生物がいるかな?



水生生物で水のきれいさを
確認します



タライの魚たちに夢中!



魚はとれるかな?



まさに一網打尽!?
スタッフによる投網の実演



不自然な“柿”を発見!
ネイチャーゲームを楽しみました

出前講座のお申込み・お問い合わせは下記URLをご参照ください。

北海道開発局 網走開発建設部ホームページ【出前講座】

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/kouhou/v6dkjr000001vpn.html>

網走開発建設部 出前講座



スマートフォンは
こちらから